

【河川】 出前講座「水害から身を守る防災」の取り組み

平成30年11月 8日
山形河川国道事務所

～ 自分たちの地域の水害を通して、水防災を身近なこととして考える～

1. 目的

出前講座とは、みなさんの国土交通行政に関する日頃のハテナ？や興味のある点について、職員が持つ知見や最新情報等を交えつつ、わかりやすくお話をさせていただくものです。

今回は、白鷹町鮎貝小学校からの「授業(流れる水のはたらき)のポイントと関連づけて、子供たちにとって身近で興味深く、印象に残る講座を。」との要請を踏まえ、白鷹町の水害の記録を理解することで洪水の怖さを身近なこととして意識してもらうとともに、水の重さや水の勢いを体験することで近年多発している水害から身を守るためにどのような行動をすべきかを学んでいただきました。

2. 実施概要

【出前講座受講者】

白鷹町立鮎貝小学校 5年生 全28名(教員3名含む)

【開催日時】

平成30年11月8日(木) 10:50 ~ 12:25

～ 実施内容 ～

○水害の怖さを知ろう！

※羽越水害における白鷹町の被害状況写真や近年の水害写真等を見て、水害時の怖さを自らのこととして考える。

○被害に遭わないために！

※堤防やダム、白鷹町で工事中の橋の架替工事などの目的やこれまでの治水対策を学ぶ。
それでも発生する水害から身を守る方法を一緒に考えてみる。

○命を守るための行動「覚えよう防災知識」！

⇒ハザードマップって何？
⇒自分ができること

※ハザードマップ上で仮想避難を行い各々が避難ルートを確認。
また、水害が予想される場合に自分ができることを学ぶ。
(避難準備、河川情報の取得、親や地域への声がけなど)

○体験してみよう水防技術！

⇒雨の重さを体験してみよう
⇒身近なもので浸水被害を防ごう
⇒水の力を体感してみよう

※体験を通して、水害の怖さや簡易水防工法などを学ぶ。

3. 出前講座の実施状況



羽越水害における白鷹町の被害を紹介



体験形式でハザードマップを学習

～マップ上で避難所まで逃げてみよう！

避難途中に危険な箇所は無いかな？～

<体験型学習>



畳1枚の広さに降った
雨30mm/hの重さ体感

30mm/hの雨でも
集まるとすごく重い



水深40cmの流れる
水の抵抗を体験

水の中を避難するのは
とても大変！
水の力ってスゴイ。
～早めの避難をしよう～



水土のう完成
ドアが開かないぞ！

水土のう作りを体験